



国際ロータリー 第2570地区 熊谷南ロータリークラブ

KUMAGAYA SOUTH Rotary Club of Saitama RI Dist. 2570

会長●棚澤正行 幹事●渡邊藤男
例会場●ホテルガーデンパレス 熊谷市佐谷田3248-1
TEL 048-522-6143 FAX 048-522-6153
http://kumagaya-south-rc.com/ E-mail ksr@kumagaya-south-rc.com

2010.3.24 No.588



国際ロータリー
2009-10年度 会長
ジョン・ケニー
国際ロータリー第2570地区
2009-10年度 ガバナー
加藤 玄静

熊谷東・南ロータリークラブ合同例会 卓話 日本美術院同人 大野百樹先生

お客様紹介



山口 茂 会員

会長挨拶



熊谷東RC 井桁 憲治 会長



熊谷南RC 棚澤 正行 会長



熊谷青年会議所 まちづくり実行委員会
委員長 新井 崇 氏

委員会報告

熊谷東RC 社会サービス委員会
山田 義明 会員
第30回剣道大会のご案内

ニコニコBOX紹介



熊谷東RC
椎橋 信夫 会員

熊谷南RC
高田 直樹 会員



2人そろって点鐘

出席報告

3月24日

会員数	出席	欠席	MU	出席率
27	17	11	0	60.7%

大野百樹先生ご紹介 熊谷東RC野中弘之会員



大野百樹先生におかれましては、日本で最も権威のある日本美術院協会の評議員もされており、重要なお立場です。
大正9年(1920年)吉田町生まれ、本年90才で、画描歴70周年、熊谷人になられ多分60年RC歴25年で、節目の年であられると思います。先生は、いつも真心でお話をされる為、感動します。私共ロータリアンにとって精神的な支えです。

豊饒と卓話をされる大野 百樹 先生

かくしゃく



花束、記念品贈呈

空襲で東京が焼けてしまい、故郷へ帰るしかないが高崎線で熊谷に降り立ち秩父線に乗りかえる際、熊谷の町の中を歩いた折、そこに星川があった。星川のきれいな水で、顔を洗い手を洗い、足を水につけた。「なんて美しい水だろう」と思い、こんな美しい水の街熊谷に住んでみたいと思いました…

小6の桜が散る頃父を亡くした。桜吹雪の中父を見送った。それ以来、悲しい時、嬉しい時、桜の花びらがシャシャシャシャと心を舞う。散る桜を心に刻み、桜の普及運動をしています。

日本は東西南北海に囲まれ美しいです。感謝の気持ち、人生は一度しかない、自然を愛し、助け合い、励まし合い、RC精神をもって与えられた尊い自分を大事に健康を保ち、それぞれ大切に生きていきたいと思います。

〔原稿の原紙はHPにのせたので、お話の中の一部をご紹介しました〕

第26回(588回合同例会)会長挨拶

棚澤 正行

皆さんこんばんは、熊谷南RC会長の棚澤正行です。

東RCの皆様、本日はお世話になります。

大野百樹先生、本日はお忙しい中お時間を頂き有難うございます。

当クラブのIT勉強会や(株)ハイデイ日高への職場訪問移動例会など、まるで合同例会を思わせるごとく、メイクアップに何度も沢山の東クラブメンバーの皆様にお越しいただき、本当に感謝につきないです。

いざ合同例会となると色々と粗相のないようにと、打ち合わせが尽きないくらいあり、中々行動に移すのが大変なものです。

しかし、今回は井桁会長と私が幹事を一緒にやったこともあり、比較的スムーズに打ち合わせが出来たと思います。

そして井桁会長、吉田幹事にお世話になり、親クラブである東RCさんと、今年度初めての合同例会を実現する事が出来ました。有難うございます。

報告ですが、12日(金)に5クラブ合同ゴルフコンペの打ち合わせに岡部ゴルフ部長と行ってきました。詳しくは部長より報告があると思います、私はゴルフができないので場違いな気がしましたが、会長は打ち合わせには出るもんだと言われ出席してきました。

出席しての所感ですが、一番古いクラブを除き、各クラブともゴルフを通じて他クラブのメンバーと親睦を深めたいと考えている事、会議での前年度の決算報告への岡部部長の果敢な質問、懇親会での仕切り方を見て南クラブは岡部部長に任せておけば安心と感じてきました。

16日アスネットに夕方6時30分よりJC主催の「育もう！日本一あつい熊谷に、いのちの森を！～」に熊谷南RC代表として参加してきました。これは第3回例会でもあったようです、そしてNPO団体として植竹会員も最後まで参加しておりました。

講師に財団法人 地球環境戦略研究機関 国際生態学センター センター長の宮脇昭先生をお呼びしてのシンポジウムですが、この先生は肩書やパワーポイントで見せて頂いた写真からも伝わってきましたが、82歳の高齢者とは思えない元気ぶりで、トヨタを始めとする一流企業から公共施設に至るまで、日本ばかりでなく各国からも依頼を受けて4000坪以上の大きな案件1,000件以上の植樹を成し遂げてきた方で、万里の長城を任されたとは恐れ入りました。

市長をはじめ、市議員は15人以上、県議、知事代理まで参加しておりましたが、「途中退座をしたら選挙に響きますぞ！」と脅し、金を出すだけでなく、議員さん達も体を動かし参加する事を強く勧めておりました。

この中で当クラブの岡部会員の御長男・太一くんが、さいたま市の案件で県条例で緑地のスペースを施設の敷地内に造るのに、制約があることの対処法について果敢に質問しており、血は争えないと感じました。

先週の17日、岡本社会奉仕委員長のおかげで無事に、別府沼公園にて当クラブの通年行事である千年桜の植樹の式典を開催することができました。当日は晴天に恵まれ、熊谷ケーブルTVや埼玉新聞などのマスコミ関係も駆けつけて頂き、発起人であり次期ガバナー補佐の澤田パスト会長に千年桜について熱く語って頂き、盛大かつ厳かに式典を終了する事が出来

ました、ご参加の皆様ご協力ありがとうございました。

新聞のコピーを回覧しますので御覧になってください。

また、熊谷ケーブルTVで明日の10時、6時、10時と一週間も放送して頂けるそうです、ぜひ御覧になってください。

以上

幹事報告

渡邊 藤男

1. 地区より
 - * 4月のロータリーレート 1ドル=90円
 - * ガバナー・ノミネー候補者 推薦について
 - * 2009～10年度「ガバナー特別表彰」申請について
2. 第5グループガバナー補佐より
 - * IM登録料一部返金のお知らせ
3. 財)ロータリー米山記念奨学会より
 - * ハイライトよねやま121
4. 財)米山梅吉記念館より
 - * 館報 Vol.15
5. 秩父RCより
 - * 「ロータリーの森」の奉仕活動参加のお願いについて
6. 熊谷東RCより
 - * 会報
7. 高城神社より
 - * 春祭り「祈年祭」執行のご案内
8. 埼玉新聞掲載
 - * 桜の植樹の記事

以上が届いております



高田委員長

棚澤正行会長・渡邊藤男幹事

熊谷東RC名誉会長大野百樹先生、お忙しい中お時間を取って頂き有難うございます。今日は先生の絵の世界のさわりだけでも理解できたと思います。卓話、宜しくお願ひします！また東RCの皆様、本日は宜しくお願ひします。

澤田将信会員

お世話になります。澤田で～す。本日は熊谷東RCさんとの合同例会、また、大野先生の卓話と、感謝です。

山口茂会員

本日の東クラブとの合同例会、大野先生の卓話、大変楽しみにしております。地区会員増強でのトップの増強、ありがとうございます。

馬場孝会員

皆様こんばんは。親クラブ、東クラブの皆様、本日はよろしくお願ひ致します。大野百樹先生、本日の卓話、楽しみにしております。

新井正一会員

熊谷東ロータリー、南ロータリーの合同記念例会、宜しくお願ひ致します。

中島勉会員

先週は、桜の植樹に参加できなく、残念でした。熊谷東ロータリー会員の皆様、一月に入会しました中島です。よろしくお願ひ致します。大野百樹先生の講演、楽しみにしています。

高田直樹会員

本日は親クラブの熊谷東RCさんとの合同例会、そして大野百樹先生の卓話、宜しくお願ひ致します。

平成22年3月24日(水)午後6時30分
熊谷市東・南ロータリークラブ合同例会

「天地人」 卓祐 日本美術院員 犬野百才村

今日は東・南両ロータリークラブ合同例会にてお世話になりました。
南クラブさんにも2回ほど卓祐でおうかがいしました。

赤い人前で話をすることは生れつき不慣れで、小学生のとき先生に
指差されると恐れて前の生徒の蔭で小さくなっていた。その
おかげで「天地人」の語もどうもかたがたに「すか」、その美し
さにふれて見ろと思えます。自然は誠に美しい。美しい自然を己がも
つのは己の心をけんきょにし私に貴方、の美しさも下さぬ。と祈り
自分から身も心も自然の中に投入れる。その心根の深い人ほど
美しさをおもてもらう心身ともに生きる力が湧いてくる。

さて天地人の天は宇宙、広く大きい。そこに無限の自然がある。
天の宇宙は、すべての人が持ち続けている。その中に太陽があり
月があり、星がある。私達の住む地球も限りなくある星の一つで
ある。朝の空、夕方の空、四季それぞれ美しさがあり、日々年月
変化し同じ宇宙は二度とない。自然美さとか心には、日々
年々変化してゆく自然。つまり今は二度とない今しかない。この心です。

私は写生の旅に出るとき、さくらと美しく、鉛筆をけする。風景の色も
も色鉛筆で描く。ていねいに美しく鉛筆をけする。もうこの時分から写生
の心が始まる。私は88才をこえるとき、月火水木金土日、雪月花・天地人
月が重なるので12とある。この1/12と12年かけて描かせてもらおう。と
心に言いかけた。この日から月も太陽も1層美しく心に宿って来る。

そして心が生き生きとして来る。1昨年の秋の院展に「月」の絵と描き
文部科学大臣賞もいもえる。青森の岩木山、中夜の宿を夜の
2時頃ぬけたし、静かな夜空の名月とく多量の雲の流れ。美しさ
に心をうはれる。この美しい月と出合ふて描くことができた。「月」の
作品も月に感謝のみです。こうして写生地と身も心も1つになる。
油絵の坂本繁次郎も日本橋の岩橋英遠も最後の人生を空に向けて
のも命が架かぬ。

そして地があり、その大地には草木あり山あり川あり。さらに大地と取巻く海がある。

食と心と共におもつかれはこそ。青年の頃、東京美術学校(現芸大)の東洋美術史教授の鎌倉芳太郎先生が私を窓際に呼び「おの太陽を見なさい。明るく温かく大らかな太陽の心を自か心として生きなさい」と言われ、先生の指さす先には赤々と光輝やき沈みゆく夕日の姿が。そのとき心に火をきつけた太陽の心が私を生かしてくれ。私が日本美術院賞大観賞をいそがしいとき、そして美術院同人に推薦されたとき、先づ鎌倉芳太郎先生の霊前にて感謝とあてて報告しました。

私が小学生のとき雪がふると先生が全身素足で技藝に能いをし雪合戦をおこし、こわい身体の中から気がかかってくる勉教にも熱か。雪景色を描くとき、裸足になって雪原を飛びまわってから写生に入る。身心も雪の心とひとつになる。赤々とえき夕日が沈み、かとき波をスケッチブックにたらしながら写生おもしろ。

真夏の夜の希味さおひを夕月の心をえぐる寒月。大きな秋月そして星が流れる。青空にじつと目をこらして月と銀河とその彼方に、かきりぬき星々。さらに良く見るとその奥に光りのにぶい星。そして黒い星がある。そうもあの黒い星があつてこそ前方の光輝や星が美しい。黒い星をその尊い姿に感動した。そしておぼろの人間の生きる地球もあの星々の中の1つの球体である。

天と地と人。それぞれを大切に生きてまいりましょう。

では先づ健康、そして天地人すべての幸と願いをから本日の卓話とごじさせともいます。誠にありがたうございませう。